

災害に備えた

ペット同行避難のすすめ

『ペットと一緒に家にいる時』『ペットと一緒に出かけている時』

『ペットだけが家で留守番している時』

災害はいつ起こるかわかりません。

色々想定して日頃から家族、ご近所、地域で考えておきましょう。

ペット共生型避難所
運営に際する地域の準備

ペット同行避難のための
飼い主の心得

災害時の
ペットの持ちもの

地方創生 SDGs
官民連携
プラットフォーム



ambitious NPO
認定NPO法人アンビシャス



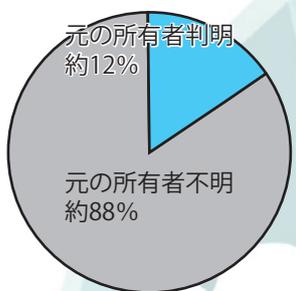


実際の被災地では どんなことが起きているの？

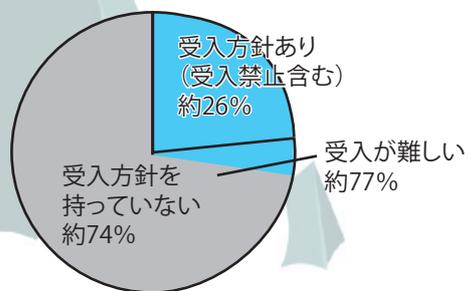
東日本大震災

ペットの避難受け入れが十分でなかったため、ペットと飼い主が離ればなれになる例が多数発生しました。震災直後、動物救護施設で保護されたペットのうち、元の飼い主が判明したのはわずか12%でした。

東日本大震災時の動物救護施設保護収容ペットの所有者判明率



東日本大震災時の避難所のペットの受入方針(事前)



出典:環境省報告書「東日本大震災における被災動物対応記録集」

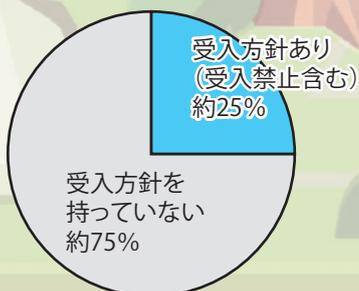
中越地震

避難所に入れず、車中泊をしていたペット連れの家族のお母さんがエコノミークラス症候群で亡くなりました。山古志村(現・長岡市)に多くの犬たちが取り残されました。その様子は映画にもなりました。

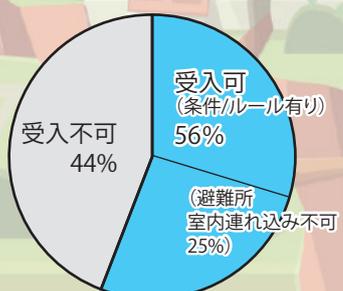
熊本地震

地域や飼い主が被災時の準備を十分にすることができず、避難所でのトラブルが各地で起きてしまいました。

熊本地震時の避難所のペットの受入方針(事前)



熊本地震時の避難所のペット受入状況



出展 環境省報告書 熊本地震における被災動物対応記録集

ペットは子どもの数より多い!



出典:日本ペットフード協会2023年調査、総務省人口統計2023年

ペット共生型避難所 運営に際する地域の準備



認定NPO法人アンビシャスでは『ペット同行避難サポートプログラム・いのちとともに』に基づき、地域の方々の相談に応じます。お気軽にお問い合わせください。(連絡先は裏表紙)

地域でペットと暮らす家族はどのくらいいるの？

- ・アンケート調査などで、頭数、種類などを把握しましょう。
- ・避難訓練の受付簿をつくろう。

避難所へのペットの受け入れについて話し合ってみよう

- ・課題、問題点は？
- ・対応策は？
- ・設営方法は？道具は？

ペットを同行した避難訓練を実施してみよう

- ・実施の呼びかけをしてみよう。
- ・実施して見えてくる課題などを解決しよう。

ペット保有者の避難はどうするの？

受け入れ
ません

受け入れ
ます

ペットを避難所に受け入れできないことを、地域へ知らせよう。

室内の避難スペースで避難者は全員一緒

他の避難者と隔離されたスペースでペットと飼い主は一緒

ペットのみ避難者とは隔離された場所

動物の苦手な人や、アレルギーをもつ人などを思いやる気持ちを持って、避難所でのペットとの過ごし方のルールなどを地域へ知らせよう

ペットと暮らす家族同士で災害時に備えた仲間づくりを

- ・人もペットも顔見知りになろう。
- ・避難所のルールを周知しよう。日頃のしつけを心がけよう。

避難所

NO PETS!

においが…！

うるさい！

不潔！

動物アレルギー！



ペットと避難 するための 準備と心得

飼い主の指示で
トイレができる？



身体を清潔にできる？



人に慣れている？



日頃からの 心がけ

人の言うことを聞ける？

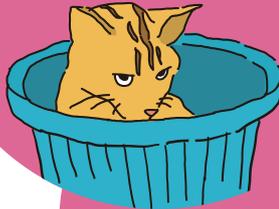


ハウスに入り
落ち着いていられる？



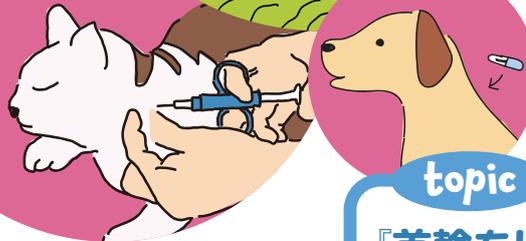
猫の逃げ場を把握しておく

「普段からよく猫が逃げ込む場所」を把握しておくこと、地震や大雨などのとき、猫を探しやすくなります。



マイクロチップの装着

犬や猫は逃してしまうと捕まえるのが困難です。探す際には、マイクロチップや首輪の装着が有効です。(かかりつけ獣医に相談してください。)



topic

『首輪をしているから外飼いしても家猫とわかるから大丈夫!』

…はホントに大丈夫?

狭い隙間を通過して首輪が引っ掛かる事故が起きやすいため猫の首輪ははずれやすくできています。

猫同士のケンカなどで感染する病気もあります。

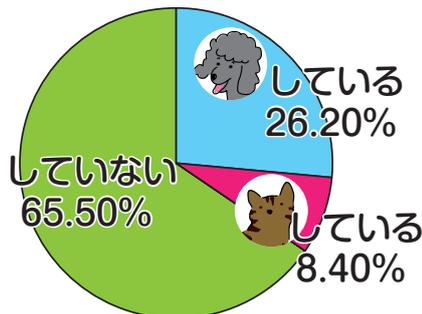
排泄物の放置が迷惑になります。

猫は室内飼いしましょう!



topic

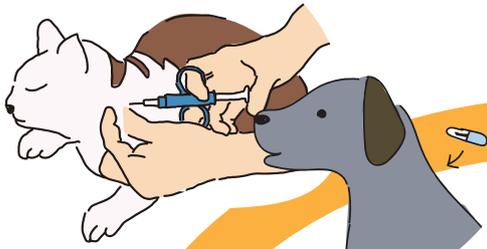
犬とネコの マイクロチップ装着率



出典：日本ペットフード協会 2023年調査

ペットと同行 避難訓練の すすめ

いざという時のために 日頃から備えよう



マイクロチップを装着する

普段からの心がけが
大事です！

災害の時にはぐれない！！



しつけ・トレーニング

地域とのつながり・
防災訓練などへの参加

パートナーとして
信頼関係を築こう！



毎日の世話

ココロ

- ・飼い主がペットを飼うという責任感を持つ
- ・飼い主とペットの強い信頼
- ・ご近所さんとの信頼、信用など

ペット共生型
防災まちづくり
ふだんからの
3つの準備

信頼関係を
築こう！



モノ

- ・ペットの物
ケージ、首輪・リード、水、食事、くすりなど
- ・支援者
飼い主不在時にペットの世話を頼める人など

ワザ

- ・ペット
ケージで過ごせる、トイレを決まった場所で行えるなど
- ・飼い主
ペットの気持ちをコントロールできるなど

住環境を整える



動物にも感情ある

ペット同行避難には普段からの備えが必要です。
地域による訓練会場で、
ペット所有者と非ペット所有者が
いっしょに避難訓練をすることにより、お互いの
理解を深める機会を持ちましょう。

「同行避難」と「同伴避難」
混同する人が多いため
トラブルの原因となることが多い!

同行避難とは

災害時に飼い主がペットを連れて
一緒に避難すること。

(環境省「災害時におけるペットの教護ガイドライン」で推奨)

同伴避難とは

ペットと一緒に避難し、避難所の中の
同じ場所で一緒に過ごすこと。
飼い主には理想です。

ただし避難所によってはペットと同じ
場所で過ごせること(同伴避難できること)も
あり、各自治体や避難所の判断となります。



災害が起こったときにトラブルなく
『ペット共生型避難所』を運営するためには
普段からのペット所有者と非ペット所有者で
コミュニケーションをとっておくことが重要です。

地域での取り組み

地域全体での取組に積極的に参加をして日頃から情報共有を図ることも大切です。



避難について家族で話し合おう

災害時にペットとどこに避難するか
日頃から家族で話し合っておきましょう。

ペット同行
避難のための
飼い主の
心得



自宅待機?

車中泊?

避難所へ連れて行く?

公園などでテントをはる?

信頼できる人に預ける?

(親戚・友人・かかりつけ獣医・トリミングサロンなど)

ペット用の 避難バッグを 準備しよう

ペット用避難バッグがあると便利です。

最低7日分の食べ物、水、薬、生活用品、
飼い主&ペットの情報メモ（飼い主の連絡先とペットの写真、
かかりつけの動物病院やワクチンの接種状況、既往症、
健康状態）・・・などをひとつのバッグにまとめておきましょう。
一時的な避難場所としてペット用ケージも
準備しておきましょう。

キャリー・敷物

日頃から使って
匂いをつけておこう!



予備の首輪・リード



おもちゃ

ストレス緩和に!



洗たくネット

猫の逃亡予防や
治療時に役立つ



ウェットシート



手足・顔を拭いたり
体を清潔に保つ



排泄物の 処理道具



使い慣れた トイレ砂やシート



ガムテープ

避難時に
ケージのふたをしめたり
ケージの補修に使う



大・小ゴミ袋

トイレや雨よけ用

ファスナータイプも!



タオルやブラシなど



マイペットカルテ

飼い主&ペットの情報メモ

ペットの医療記録や
既往症・健康状態を
メモしておこう

薬・お薬手帳

アレルギー薬や治療薬など



フード&水

ローリングストック

7日以上



アンビシャスの活動

ペットと防災とは・・・

地震や台風などの災害がおき、避難する必要があったときに、ペットと暮らしているみなさんは、どうしたらいいのでしょうか？
地域の避難所を運営する町内会・自治会などは、ペットといっしょに地域住民が避難してきたときに、どうするか考えていますか？
国のガイドラインでは、災害時に飼い主責任による同行避難を前提とした上で、個人での対応には限界がある場合に備え、自治体等による支援体制や、放浪動物、負傷動物等の救護体制を整備することの重要性を指摘しています。避難所は、動物の苦手なひとや、アレルギーをもつひともおり、スペースも限られています。
アンビシャスは防災まちづくりとして、各種イベント・出張会や講演会など「ペットと一緒に」同行避難へのとりくみをしています。

ペット同行避難のための飼い主の心得

ペット共生防災まちづくり ふだんからの3つの準備

- ココロ**
 - ・飼い主がペットを飼うという責任感を持つ
 - ・飼い主とペットの強い信頼
 - ・ご近所さんとの信頼、信用など
- モノ**
 - ・ペットの物：ケージ、首輪・リード、水、食餌、くすりなど
 - ・支援者：飼い主不在時にペットの世話を頼める人など
- ワザ**
 - ・ペット：ケージで過ごせる、トイレを決まった場所のできるなど
 - ・飼い主：ペットの気持ちをコントロールできるなど



ペットと防災

主な活動

京都市総合防災訓練
京都市内各学区防災訓練
ペットと一緒に!ペット防災フェスタ
ペットと共生!防災まちづくりフェスタ
京都府 京防災フェスタ
京都市 京都動物愛護フェスティバル
京都府獣医師会 動物感謝デー
京都市獣医師会 京都動物フォーラム
宮津市社協「ペットと防災勉強会」
京都トヨペット
大阪市難波市民学習センター

各種イベント・講演会・・・など



アンビシャスの「ペットと防災」動画チャンネル



いのちの授業とは・・・

未来をになう子どもたちにセラピードッグとのふれあいを通して「いのち」を感じてもらいたい。
アンビシャスの会員とそのペットであるアンビシャス認定セラピードッグたちが、保育園・幼稚園・小学校・中学校・高校・大学、PTA団体、町内会・自治会、学習塾などに出向き、「いのちの大切さ」を伝える授業をします。
子どもたちへ動物介在教育として、アンビシャスのセラピードッグとともに訪問して、実際に見て・触って・聴いて、五感をフルに使った楽しい授業です。

きょうとアニラブクラス活動

京都市が2012年度からはじめた「思いやりの心を育む出張動物愛護教室」です。
京都市内の幼稚園・小中学校へ年間約20校訪問しています。
アンビシャスは開講当初よりすべての授業にセラピードッグを同行し、全面協力しています。



「きょうとアニラブクラス」京都市制作公式動画



いのちの授業

いのちの授業 授業先

京都医療少年院
京都聖母学院高校
立命館守山高校
高槻市春日青少年交流センター
京都市アニラブクラス
・・・など

上手に抱っこできるかな?



ドッグセラピーとは・・・

セラピードッグという言葉を知っていますか?

人が犬に触れたり犬と遊んだりすることで、癒しや安心感、前向きな意欲の向上、教育的な効果が期待できる活動を「ドッグセラピー活動」といい、その活動のために訓練した犬を「セラピードッグ」といいます。狭義には、医療の専門家による患者の療養目的のための活動をいいますが、広義には、療養目的に限らず、教育的効果や情緒的効果が期待できる活動を総じて「ドッグセラピー活動」といいます。

ひとと犬との共生社会が形成されている欧米で先行している取り組みで、国内では20年程度の歴史があると言われていました。

私たち認定NPO法人アンビシャスは、活動当初より犬のしつけ・訓練に意識の高い飼い主が会員となり、自分の飼い犬とともにドッグセラピー活動を続けてきました。アンビシャス独自のセラピードッグ資格を設け、各家庭での顧問訓練士によるセラピードッグの訓練のみならず、合同講習会・勉強会を年に数回行い、日々レベルアップトレーニングしています。活動当初より訪問している施設もあり、最近ではたくさんの方の施設からもドッグセラピー活動のお問い合わせを頂いており、ドッグセラピー活動実績は、年間100回以上にのぼり京滋随一の実績を重ねています。

病院では患者さんの癒しとなり、老人ホームでは入所者さんの気持ちをほぐす楽しみのひとつとなっています。

私たちは「セラピードッグ」によるドッグセラピー活動は単なる癒しにとどまらない可能性を秘めていると考えています。

セラピードッグを
楽しみにしているの



ドッグセラピー

主な訪問施設

老人介護福祉施設
障害者支援施設
日本バプテスト病院ホスピス病棟
薬師山病院・いわくら病院

長岡ヘルスケアセンター(長岡病院)
京都鞍馬口医療センターがん相談支援室
立命館大学・・・など

